

JOMF 派遣医師便り (2019. 12)

◆シンガポール◆

ムルデカ世代

シンガポール日本人会クリニック

日暮 浩実

ムルデカ(Merdeka)とはマレー語で独立、自由という意味の言葉である。シンガポールでは、1950年代にシンガポールで生まれ、1996年末までにシンガポール国籍を取得したシンガポール人のことをムルデカ世代の人と呼称することとし、シンガポールの国の成立やその後の発展に貢献があった人々として、優遇する制度が今年の6月から施行されている。実は、2015年にパイオニア世代(1950年以前にシンガポールで生まれ、1986年末までにシンガポール国籍を取得した人々、現時点では69歳以上の方々の多くが合致)というものが定められ、医療費など様々な特典が与えられることになったのだが、このムルデカ世代はその続編と言える。パイオニア世代が受けたような特典を今回は、1950年代に生まれたシンガポール人にも与えようとするというものといっただろう。概ね現在60歳代の人、約50万人が該当する。そしてさらに、この特典は1950年以前に生まれ1996年末までにシンガポール国籍を取った人々にも与えるとした。これは、パイオニア世代と生年は同じ基準だが、国籍を取るのが遅くなった人々にも特典を与えようとするということである。

特典を与える理由は、シンガポールの独立やその後の国家建設に対し、この世代が多大な貢献したと評価され、それに報いるためということである。総額61億ドル(約4,972億円)の予算が割り当てられ、「ムルデカ(独立)世代パッケージ」として医療補助を中心に支援を実施される。もう少し詳しくみると内容は、強制加入の医療口座への積み増し(年200ドル5年間、外来診療費に対し補助¹⁾、高額医療保険メディシールド・ライフの保険料補助(5%、75歳以降10%)、長期療養に対する保険(2020年から始まるcare shield life)に対する奨励金4,000ドル、プールや公共交通機関に利用できる高齢者カードへの100ドル(約8,150円)の交付、などである。

1) 外来診療費に対する補助

| | |
|------------------|---------------------|
| 風邪など一般の病気で外来受診費用 | 受診ごとに23.5ドル |
| 単純な慢性疾患 | 受診ごとに85ドル、年340ドルまで |
| 複雑な感性疾患 | 受診ごとに130ドル、年520ドルまで |
| 歯科治療 | 施術により16ドルから261.5ドル |

単に高齢になったから特典が得られるというのではなく、建国に貢献した人々だからという理由づけは、その方々にプライドを与え、なおかつ、後に続く世代も不平を唱えにくい、大変、巧妙な理由であると感じる。生年や過去の国籍取得の時期が基準であることから、今後、それらのカテゴリーに合致する人口が増えていくことはなく、徐々に減っていく。これらの世代の寿命が延びることによる医療費の増大分があるにしても、徐々にこの世代の人口が減るわけであるから、これは、将来の経済的負担の増加という心配をかなり軽減させるという点だけをとっても優れた策であるといえる。

シンガポールの65歳以上人口は2009年では8.8%であったが、今年2019年には14.4%になっており、2030年には25%になると予想されている。急速な高齢化に対し、巧みに積極的な対策を行って行こうとするシンガポールの姿勢が感じられる。

世界に先駆けて超高齢化社会が進行している日本にとっても、何らかのヒントになるものではないだろうか。